

平成22年第8回片品村議会定例会会議録第2号

議事日程 第2号

平成22年12月14日(火曜日)午前10時開議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 副村長再任あいさつ
- 第 3 請願第 2号 TPP交渉参加反対に関する請願
- 第 4 議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)について
- 第 5 議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 第 6 議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算(第3号)について
- 第 7 議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 第 8 議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- 第 9 議案第60号 工事請負変更契約の締結について
- 第10 発委第 2号 TPP交渉参加反対に関する意見書
- 第11 閉会中の継続調査申し出について
- 第12 字句等の整理委任について

本日の会議に付した事件

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 副村長再任あいさつ
- 第 3 請願第 2号 TPP交渉参加反対に関する請願
- 第 4 議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)について
- 第 5 議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 第 6 議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算(第3号)について
- 第 7 議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 第 8 議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

(日程第4から日程第8号まで一括上程)

- 第 9 議案第60号 工事請負変更契約の締結について
- 第10 発委第 2号 TPP交渉参加反対に関する意見書
- 第11 閉会中の継続調査申し出について
- 第12 字句等の整理委任について

会議録 1号用紙

| | | | |
|----------------------|-------|--------|--------|
| 片品村議会会議録 | | | 第 2 日 |
| 平成 2 2 年 1 2 月 1 4 日 | | | |
| 出席議員 1 3 名 | | 欠席議員 名 | 欠員 1 名 |
| 第 1 番 | 戸丸廣安 | | (出席) |
| 第 2 番 | 星野千里 | | (出席) |
| 第 3 番 | 飯塚美明 | | (出席) |
| 第 4 番 | 入澤登喜夫 | | (出席) |
| 第 5 番 | 笠原耕作 | | (出席) |
| 第 6 番 | 大竹文夫 | | (出席) |
| 第 7 番 | 星野侃三 | | (出席) |
| 第 8 番 | 高橋正治 | | (出席) |
| 第 9 番 | | | |
| 第 1 0 番 | 吉野勲 | | (出席) |
| 第 1 1 番 | 星野育雄 | | (出席) |
| 第 1 2 番 | 星長命 | | (出席) |
| 第 1 3 番 | 萩原日郎 | | (出席) |
| 第 1 4 番 | 星野完治 | | (出席) |

説明のために出席した者の職氏名

| | |
|-------------|-----------|
| 村 長 | 千 明 金 造 |
| 副 村 長 | 萩 原 重 夫 |
| 教 育 長 | 星 野 準 一 |
| 総 務 課 長 | 桑 原 護 |
| 住 民 課 長 | 星 野 純 一 |
| 保 健 福 祉 課 長 | 吉 野 耕 治 |
| 農 林 建 設 課 長 | 桑 原 健 一 郎 |
| むらづくり観光課長 | 木 下 浩 美 |
| 教 育 次 長 | 佐 藤 八 郎 |
| 会 計 管 理 者 | 星 野 朋 美 |

事務局職員出席者

| | |
|---------|---------|
| 事 務 局 長 | 萩 原 正 信 |
| 主 査 | 星 野 照 子 |

議長（入澤登喜夫君） おはようございます。
本日の会議を開きます。

午前10時00分 開会

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（入澤登喜夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、6番 大竹文夫君及び7番 星野侃三君を指名します。

日程第2 副村長再任あいさつ

議長（入澤登喜夫君） 日程第2、副村長再任あいさつを議題とします。

去る12月7日に、同意第5号 副村長の選任についてで同意されました副村長 萩原重夫君に、再任のあいさつをお願いします。

副村長 萩原重夫君。

（副村長 萩原重夫君登壇）

副村長（萩原重夫君） はい。

一言ごあいさつをさせていただきます。

去る12月7日に開会をされました定例議会におきまして、千明村長のご推挙をいただき、議員の皆様のご理解を賜り、副村長にご同意をいただきまして、誠にありがとうございました。

また、これまでの4年間、職務に専念できましたのも千明村長を始め、議員の皆様方ご指導のもと、また職員のご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

今、各地方自治体を取り巻く環境というのは、急速に迫る少子高齢化の問題や情報化、地方分権など、様々な課題も多く山積をいたしておりますし、経済もなかなか先が見えない不透明な状況にあります。

こうした中で、各地方の自治体は競争の時代へと入り、地域の特徴を活かした村民が安心して暮らせる村づくりを求められております。

こうした中で、千明村長は日々奮闘され、ご活躍をされております。その補佐役としてこれからも微力ではありますが、引き続き職務に専念をさせていただきたいと思っております。

これからも皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げて、ごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

（拍手）

日程第3 請願第2号 TPP交渉参加反対に関する請願

議長（入澤登喜夫君） 日程第3、請願第2号 TPP交渉参加反対に関する請願を議題とします。

請願第2号について、委員長の報告を求めます。

観光産業常任委員長 高橋正治君。

（観光産業常任委員長 高橋正治君登壇）

観光産業常任委員長（高橋正治君） はい、8番。

付託をされました請願につきましては、お手元にあります報告書に基づき、説明をいたします。

平成22年12月14日

片品村議会議長 入澤登喜夫 殿

観光産業常任委員会委員長 高橋正治

委員会審査報告書

1 議案の名称

請願について（平成22年12月7日付託）

請願第2号 TPP交渉参加反対に関する請願

請願者 利根沼田農業協同組合 組合長 嶋本暢一

紹介議員 戸丸廣安・飯塚美明

2 審査の経過及び意見

観光産業常任委員会に付託されました請願第2号について、12月9日に当委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、次のような意見でありました。

TPPへの参加は、本県の農業に多大な影響を及ぼし、農業産出額が減少する可能性があります。

また、それぞれの産業によっても日本全体としては、TPPへの参加がどうなるのか分からないところでもあります。

現状の農業としては、TPP参加は影響ありますので、本質的な改善も必要ではないかなどの意見がありました。

3 審査の結果

以上のような審査経過を踏まえて、当委員会に諮ったところ、請願第2号については、採択すべきものと決定をいたしました。

以上でありますので、よろしくお願ひいたします。

議長（入澤登喜夫君） 委員長報告が終わりましたので、これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

6番（大竹文夫君） はい、議長。

議長（入澤登喜夫君） 6番 大竹文夫君。

6番（大竹文夫君） はい、6番。

ただいまの委員長の報告で、少し紹介されておりますが、もう少し委員会での議論とい
いますか、各委員さんの意見なりを詳しく報告をお願いしたいと思います。

大変重要な問題ですので、是非お願いします。

議長（入澤登喜夫君） 観光産業常任委員長 高橋正治君。

観光産業常任委員長（高橋正治君） はい、8番。

ご説明をさせていただきます。

この関係につきましては、12月9日午前10時から観光産業常任委員会を開催いたし
まして、その中で5名の委員の出席をいただき、また議長さん、そのほか村当局から村長
さん、副村長さんまた関係課長さんのご助言もいただき、審査をいたしました。

その中で、日本全体あるいは群馬県全体を考えると、試算的にはT P Pに参加した場合
については、約1,600億円からの利益がある。

その中で、では農業に関する不利益はどのように被るかということ780億円ということ
で、非常に参加反対の決議をするには、慎重に審議をすることが必要ではないかという意
見もありました。

しかしながら、こういったことで日本の食料自給率あるいはこれからの日本の食料の安
全・安心を考えた場合については、外国の物については日本で生産している物と比べて、
安心・安全がそのように図られているかというような慎重な意見もありました。

そういった意見を踏まえて、それぞれの皆さんから意見をいただき、その中でやっぱり
これについては、農業は国が、例えばT P Pに参加したとしても、これからの農業を守っ
ていくためには、国が農業の保護政策をきちんととっていただきたい。

そのためにもこの際、採択をして意見書の提出をすることが、望ましいのではないかと
いう意見がありましたので、それを集約して発表させていただきましたので、よろしくお
願いします。

議長（入澤登喜夫君） ほかに質疑はありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

6番(大竹文夫君) はい、議長。

議長(入澤登喜夫君) 6番 大竹文夫君。

6番(大竹文夫君) はい、6番。

賛成の立場ですけれども、ただ、この問題を賛成・反対と言っているレベルでは収まらない問題が多々あると思います。

したがって、これは補強的な意見ですが、今後片品村議会としても所管の委員会の方はもちろん、議会全体としても自分たちの問題としてこの農業及び、とりわけこれは場合によっては、私のこれは意見ですが、いわば通過問題で端的に表れた通貨安競争から、いわば貿易という、端的に表れ始めている国際的な貿易を巡る、言葉は悪いですが、地域的なブロック化をめざす動きということによって、世界が取り返しのつかない状況に陥る危険性さえあるということです。TPPの問題というのは、一農業を超えた極めて世界にとって深刻な問題、世界の安心・安全保障にとって深刻な問題さえはらんでいると、私は思います。

したがって、是非今後議会のみなさんも含めてこの問題については、議論を深めていくべきじゃないかというのが、私の意見です。

議長(入澤登喜夫君) これで討論を終わります。

これから、請願第2号 TPP交渉参加反対に関する請願についてを採決します。

この請願に対する委員長報告は、採択です。

この請願は、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 異議なしと認めます。

したがって、請願第2号 TPP交渉参加反対に関する請願は、委員長報告のとおり採択することに決定しました。

日程第4 議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)について

日程第5 議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

について

日程第6 議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算(第3号)について

日程第7 議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第8 議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

議長(入澤登喜夫君) 日程第4、議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)についてから、日程第8、議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてまでの、以上5件を一括議題とします。

説明が終わっていますので、これから質疑を行います。

まず、一般会計について、質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

(「進行」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 質疑なしと認めます。

次に、4特別会計について、一括して質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

(「進行」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議長(入澤登喜夫君) これから、議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)について、討論を行います。

討論は、ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算(第3号)についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第55号 平成22年度片品村一般会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

議長（入澤登喜夫君） これから、議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について、討論を行います。

討論は、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第56号 平成22年度片品村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

議長（入澤登喜夫君） これから、議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第3号）について、討論を行います。

討論は、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第3号）についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第57号 平成22年度片品村営観光施設事業特別会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

議長（入澤登喜夫君） これから、議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）について、討論を行います。

討論は、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第58号 平成22年度片品村介護保険特別会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

議長（入澤登喜夫君） これから、議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、討論を行います。

討論は、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第59号 平成22年度片品村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第60号 工事請負変更契約の締結について

議長（入澤登喜夫君） 日程第9、議案第60号 工事請負変更契約の締結についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 千明金造君。

（村長 千明金造君登壇）

村長（千明金造君） はい、村長。

議案第60号 工事請負変更契約の締結について、提案の説明を申し上げます。

総務省から地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業による交付金を受けての片品村除雪車格納庫建設工事につきまして、去る10月21日に契約が締結され、工事を進めておりますが、工事内容に変更が生じたので、工事請負変更契約の締結についてお願いするものでございます。

なお、詳細につきましては、農林建設課長に説明させますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（入澤登喜夫君） なお、詳細な説明を求めます。

農林建設課長 桑原健一郎君。

農林建設課長（桑原健一郎君） はい。

（詳細説明）

議長（入澤登喜夫君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

6番（大竹文夫君） はい、議長。

議長（入澤登喜夫君） 6番 大竹文夫君。

6番（大竹文夫君） はい、6番。

工事が追加になって、五百何十万円ぐらいの増になって、工期も変更になった。工期も延びたということですが、財源的にはちょっと前の落札価格が安く済んで、財源的な余裕ができたというようなことでしたが、その辺の説明をもう少しお願いしたい。

議長（入澤登喜夫君） 農林建設課長 桑原健一郎君。

農林建設課長（桑原健一郎君） はい。

この財源につきましては、先ほど村長が申しましたとおり、総務省からの地域活性化・

きめ細やかな臨時交付金を明許繰越で行っておりました。これにつきましては、工事費ということで約6,410万円ほど明許繰越を行っておりますけれども、これが変更前で5,145万円ということで大分大きな差額が出ておりますので、この補助金を有効的に使うためにもこれを増ということで、お願いしたいというものでありますので、よろしく願いします。

議長（入澤登喜夫君） ほかに質疑はありませんか。

13番（萩原日郎君） はい、議長。

議長（入澤登喜夫君） 13番 萩原日郎君。

13番（萩原日郎君） はい、13番。

説明を伺いますと、大半が土木工事のような印象を受けますけれども、建築工事屋さん
がそういったものを引き続いてするのは、こういう場合、不自然じゃないんでしょうか。

議長（入澤登喜夫君） 農林建設課長 桑原健一郎君。

農林建設課長（桑原健一郎君） はい。

このことにつきましては、当初設計でも若干ですけれども、アスファルト舗装ということ
と見ておりましたけれども、これを引き続き、この業者でお願いしたいということでご
ざいますので、よろしく願いします。

議長（入澤登喜夫君） ほかに質疑はありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） これで討論を終わります。

これから、議案第60号 工事請負変更契約の締結についてを採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(入澤登喜夫君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第60号 工事請負変更契約の締結については、原案のとおり可決されました。

日程第10 発委第2号 TPP交渉参加反対に関する意見書

議長(入澤登喜夫君) 日程第10、発委第2号 TPP交渉参加反対に関する意見書を議題とします。

本案について、趣旨説明を求めます。

観光産業常任委員長 高橋正治君。

(観光産業常任委員長 高橋正治君登壇)

観光産業常任委員長(高橋正治君) はい、8番。

TPP交渉参加反対に関する意見書の提出について、趣旨説明をいたします。

我が国は、WTOドーハ・ラウンド交渉において、世界の国々において多様な農業が存在しうる貿易ルールの確立を国の方針として主張してきました。

しかしながら、菅首相は、10月1日突如として米国、豪州など9か国が行うTPPすなわち環太平洋経済連携協定への参加について言及をしました。

去る11月9日には、包括的経済連携に関する基本方針を政府は閣議決定をしました。この中で、TPPについて交渉の参加・不参加を先送りしたものの「関係国との協議を開始する」と決定しました。

TPPは、関税撤廃の例外措置を認めない完全な貿易自由化を目指すものであり、TPPへの参加は日本の農業・農村を崩壊させる恐れがあり、断じて認められません。

我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではありません。

しかし、この国が貿易立国として発展してきた結果、我が国は世界で最も開かれた農産物純輸入国となり、食料自給率は40%と著しく低下をしました。

さらに、例外を認めないTPPを締結すれば、農畜産物輸入が激増し、日本農業は壊滅をします。

さらに、関連産業は壊滅し、地方経済・雇用、農業が守ってきた多面的機能も失われます。これでは、国民・県民の圧倒的多数が望む食料自給率の向上、安全・安心な暮らしの実現は到底不可能であります。

農山漁村は、現在、疲弊の度を極め、我々は農林水産業などの地域産業の振興に日夜全力を傾けており、食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮、世界の食料問題の解決と

両立できないＴＰＰ交渉への参加に反対であり、断じて認めることはできません。

つきましては、この趣旨を十分ご理解いただき、政府においては適切な対応をとるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第９９条の規定により関係機関に意見書を提出いたします。

以上でございます。

議長（入澤登喜夫君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

質疑は、ありませんか。

（「進行」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 次に、原案に賛成者の討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） これで討論を終わります。

これから、発委第２号 ＴＰＰ交渉参加反対に関する意見書を採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、発委第２号 ＴＰＰ交渉参加反対に関する意見書は、原案のとおり可決されました。

日程第１１ 閉会中の継続調査申し出について

議長（入澤登喜夫君） 日程第１１、閉会中の継続調査申し出についてを議題とします。

各常任委員長から会議規則第７５条の規定によって、お手元に配りました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

日程第 1 2 字句等の整理委任について

議長（入澤登喜夫君） 日程第 1 2、字句等の整理委任についてを議題とします。

お諮りします。

本定例会で議決された事件について、その字句及び数字等の整理を要するものについては、会議規則第 4 5 条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（入澤登喜夫君） 異議なしと認めます。

したがって、字句及び数字等の整理は、議長に委任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了しました。

議長（入澤登喜夫君） 閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

去る 1 2 月 7 日に開会されました第 8 回定例会が、すべての案件を議了し、ここに閉会の運びになりました。

定例会中、議員各位におかれましては、熱心なご審議を賜り、厚くお礼を申し上げますところでございます。

また、執行部の皆様には、審議のために十分な対応とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

今年も残すところ、わずかとなりましたが、一日も早い降雪により年末年始に、多くのお客様が来てくれることを念願しております。

議員各位を始め、村当局の皆様方にはご健勝で越年でき、輝かしい新年を迎えられますようご祈念申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

議長（入澤登喜夫君） この際、村長からあいさつの申し出がありますので、許可します。

村長 千明金造君。

（村長 千明金造君登壇）

村長（千明金造君） はい、村長。

閉会に当たりまして、一言お礼のごあいさつを申し上げます。

議員の皆様には、1 2 月 7 日から本日までの 8 日間にわたりまして、条例の一部改正や人事案件、更には一般会計及び 4 特別会計の補正予算など多くの議案につきまして、ご審

議いただきご認定をいただきまして、誠にありがとうございました。

厚くお礼を申し上げます。

審議の間、様々なご意見やご指導をいただきましたが、今後の行政運営あるいは行政執行の参考とさせていただき所存であります。

今年は既に、一部のスキー場はオープンし、引き続き各スキー場のオープンが予定されていますが、それぞれ多くの利用者で賑わい、片品村の冬季観光産業が盛況であることを期待するものであります。

今年も残すところ、あとわずかとなりました。寒さも一段と厳しくなっておりますので、議員各位におかれましては、お体に十分ご留意されまして、ますますご活躍くださるようお願い申し上げますとともに、村民が挙って希望に満ちた新しい年を迎えられますことを、ご祈念申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

大変ありがとうございました。

議長（入澤登喜夫君） 以上で会議を閉じます。

平成22年第8回片品村議会定例会を閉会します。

午前10時31分 閉会